

2024 年度 第 2 回 順天堂大学医学部附属順天堂医院
医療安全に関する外部監査委員会 実施報告書

日 時：2025 年 3 月 28 日（金） 14：00～16：00

場 所：D 棟 8 階カンファレンスルーム

外 部 委 員：長尾 能雅 委員長（名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部 教授）

新井 悟 委員（東京都医師会 理事）

蒔田 覚 委員（蒔田法律事務所 所属弁護士）

新宅 正明 委員（株式会社ファーストリテイリング 社外取締役）

帆刈 祥弘 委員（社会福祉法人台東区社会福祉事業団 常務理事 ※書面での出席）

対 応 者：桑鶴 良平 院長

坂本 一博 医療安全担当副院長、医療安全管理責任者

米澤 和彦 事務部長

小林 弘幸 医療安全推進部長

有井 大介 医薬品安全管理責任者

中村 昭也 医療機器安全管理責任者

木暮 陽介 医療放射線安全管理責任者

高橋 幸子 看護部 看護安全管理課長補佐

金城 直樹 薬剤部主任

川本 婦倫子 サービス課師長

大橋 至仁 サービス課主任

久米 洸穂 人事課主任

金森 采輝 人事課係員

高木 辰哉 医療安全機能管理室長

山本 宗孝 医療安全機能管理室副室長

松本 雅弘 医療安全管理者、医療安全管理部門専従薬剤師

鈴木 麻衣 医療安全管理部門兼任室員、総合診療科医師

高橋 智子 医療安全管理部門専従看護師

清水 久美子 医療安全管理部門専従看護師

古田島 正樹 医療安全管理部門兼任室員、臨床工学技士

唐澤 沙織 医療安全管理部門専従事務員

榎本 晃宏 医療安全管理部門専従事務員

議事内容：

1. 開会の辞

2. 業務状況報告

1) 前回監査指摘事項に関する報告

2) 医療安全管理責任者業務状況報告（2024 年 4 月～2024 年 9 月）

3) 医療安全管理部門業務状況報告（同上）

4) 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）

5) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）

6) 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）

7) 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）

- 8) 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）
3. 監査委員の講評および質疑
4. 閉会の辞

委員会内容：

➤ 先般の新聞報道事案について

業務状況の確認に先立ち、外部委員に対し、口頭で説明を行った。

➤ 2024 年度上半期（4～9 月）業務状況の確認

以下内容について、書面および口頭で業務状況の確認をした。

- 前回監査指摘事項に関する報告
- 医療安全管理責任者業務状況報告（2024 年 4 月～2024 年 9 月）
- 医療安全管理部門業務状況報告（同上）
 - ① 職種別インシデント報告状況
 - ② 所属部署別インシデント報告状況
 - ③ レベル別インシデント報告状況
 - ④ 職種×レベル別インシデント報告状況
 - ⑤ 当該部署経験年数（医師）×レベル別インシデント報告状況（ヒヤリハット除く）
 - ⑥ 当該部署経験年数（看護師）×レベル別インシデント報告状況（ヒヤリハット除く）
 - ⑦ 当該部署経験年数（その他）×レベル別インシデント報告状況（ヒヤリハット除く）
 - ⑧ 発生内容別インシデント報告状況
 - ⑨ レベル 3b 以上のインシデント発生状況
 - ⑩ 警鐘事例発生状況
 - ⑪ カテゴリー別死亡事例発生状況
 - ⑫ SE 対策委員会・医療安全症例検討会開催状況
 - ⑬ 医療安全に資するモニタリング：75 歳以上の外来患者転倒転落発生率、患者識別実施率
 - ⑭ リスクマネジメントニュースレター配付状況
 - ⑮ 医療安全に関する研修実施状況
 - ⑯ 日本医療機能評価機構報告状況
 - ⑰ RM 小委員会活動状況
 - ⑱ 医療安全ラウンド実施状況
 - ⑲ 医療安全に係わる他施設との連携状況
 - ⑳ 職員への医療安全に関する指導・周知の実施状況
- 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）
 - ① 出席状況
 - ② 委員会構成員によるラウンド実施状況
- 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）
- 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）

➤ 監査結果

◇ 前回指摘事項に対する改善状況

1. 患者満足度調査の結果

2024 年度の患者満足度調査の結果について確認した。

調査結果を分析し、各設問に対する回答をもとに作成されたマトリクス図を用いて、「重点改善項目」に該当する項目を患者からの要望が大きい、重要かつ改善が必要な事項として定め、介入を行い、改善状況を確認していた。

患者満足度調査の結果は主観的な評価となる傾向があるため、病院に対する期待値を設定するための科学的な分析、他施設のベンチマークとの比較、患者経験価値測定と同様の客観的な評価を実施することで、さらなる向上につながると考えられる。

すでに患者経験価値測定を参考とした客観的な評価を一部設問で導入しており、今後に期待したい。

2. 職員満足度調査の結果

2024 年度の職員満足度調査の結果について確認した。

他施設のベンチマークと比較し、当院における満足度は高い結果であったが、さらなる向上が課題となる。現時点では回答率が低値であるため、一定以上の回答率へ改善する必要がある。

職員の満足度を向上させるためには、将来のビジョンやロールモデル等、自身のキャリアステップを明確化する必要がある。また、適切なフィードバックがなされない場合は、職員の満足度のみならず、回答率が低下するおそれがある。そのため、調査結果を取りまとめ、課題を明確化した上で、改善策を示す等のフィードバックをすることが重要である。フィードバックの方法として、各部署の代表者が出席する委員会等を活用することを検討いただきたい。

3. 2024 年度の目標と達成状況

2024 年度の目標と達成状況について確認した。

医療安全管理部門の安全重点項目を、①「患者誤認防止」、②取り組む課題として「医療安全に関する報告の適切性：日本医療機能評価機構への速やかな報告（14 日以内）」とした。

①「患者誤認防止」については、2023 年度は総実施率 90%程度で推移しており、一部の職種が低値で推移しているものの、全職員が患者識別に対して、意識できていることが伺える結果であった。残念ながら、患者誤認に関するインシデント報告数の減少には繋がっていなかった。

2024 年度は患者誤認のインシデント報告数を減少させていくことを目標に、患者識別実施率調査の場面を変更されており、変更後の 10 月以降は、総実施率が 95%まで上昇し、低値であった職種でも改善が見られた。ただし、報告件数に大きな改善が見られないため、2025 年度も継続して調査を実施していくことで、インシデント報告数の減少に繋げていてもらいたい。

②「医療安全に関する報告の適切性：日本医療機能評価機構への速やかな報告（14 日以内）」については、第一報および第二報と形式を分ける報告方法へ変更した結果、2023 年度は報告事例数 20 件に対し、報告までの平均日数 12.3 日となり、平均日数では医療法で求められている 14 日以内を達成できていることが確認できた。2024 年度（2025 年 2 月 8 日時点）の状況としては、平均日数 15.5 日であった。引き続き、14 日以内の報告の遵守に期待したい。

◇ 評価すべき点

1. 患者さん満足度調査において、高く評価されており、分析結果が適切に活用されていた。
2. 看護師によるインシデント報告数が前回報告より改善されていた。
3. 日本医療機能評価機構に対して 14 日以内に報告を行う体制づくりに努めていた。

◇ 改善すべき点（指摘事項）

1. 高難度新規医療に関する体制をお伺いしたい。
2. 臨床倫理に関する体制をお伺いしたい。

◇ 全体評価

特定機能病院としての医療安全管理体制が十分満たされていることが、確認できた。

以上